



自動車保険の使用目的は？

自動車保険を加入の際に保険料を算出のため、「使用目的」を確認する項目があります。契約自動車の使用状況により「業務使用」「通勤・通学使用」「日常・レジャー使用」の3つの区分があります。保険料は「業務使用」が一番高く「日常・レジャー使用」が一番安くなります。使用目的を決める際の注意点はいくつかあります。各項目共通ですが、「使用目的」はあくまでも定期的に、かつ継続して使用する場合に適用されます。具体的には、年間を通じて月平均15日以上

の使用頻度の場合をいいます。また「通勤・通学使用」のケースで、最寄りの駅までの送迎の使用は「通勤・通学使用」には該当しませんので、今まで雨の日だけの使用で「通勤使用」や「業務使用」にて加入していた方は、保険料が軽減される可能性があります。無駄な保険料を削減して、その分、本来加入した方が良い特約に加入しては如何でしょうか。ドラレコ特約等、保険会社それぞれ工夫された特約がありますので、詳細は保険会社、代理店にご確認ください。



1. ねぶた祭 (青森)
2. 祇園祭 (京都)
3. 岸和田だんじり祭り (大阪府)
4. よさこい祭り (高知)
5. 札幌雪祭り (北海道)
6. 博多どんたく祭 (福岡)

消齡化社会到来？

失われた30年。日本経済の衰退が長期化した今「消齡化社会」と言われています。30年以上前であれば祖父母・両親とそれぞれ時代背景もことなり価値観や嗜好も3世代大きく異なっていました。現在は20代から60歳くらいまでは社会に大きな変化がないためその違いが年々小さくなっているとのことです。昨年人気「トップガンマーヴェリック」「シン・ウルトラマン」の客層は予想とは異なり実際は10代から50代となっていました。「ユニクロ」の購入者も20代から50代まで同じ商品を購入しているとのことです。以前では日本の企業は年齢に合わせてターゲットを設定し、ある年齢層の価値観と嗜好をもとにプランを作成していましたが、個性や多様性を尊重する現在ではプラン作成が難しくなってきたとのことです。「消齡化」が続けば実年齢(数字上の)はそれほど重要ではなく、代わりに身体や心理の状態で実年齢を判断・計算することになる可能性があります。人々は実年齢に合わせて生活目標を設定し、企業はそれに基づいてターゲットを細かく分けずに「大きな共通性」をもとに商品開発をおこなうとのことです。互いを理解し違いを尊重する社会に変化していくとのことです。良い社会になってほしいですね。



発行年月日
2023年6月29日
編集長代行
本部
曾宮

編集長より
ひとこと



育休中
しばらくお
待ちくださ
い。

お問い合わせ先

株式会社マエダ
保険課
〒580-0017
大阪府松原市柴垣2-975-1
TEL 072-330-0400
FAX:072-330-0401
営業時間 9:00~19:30
定休日:火曜日

7月のお知らせ

夏休みの遠出の前に車の点検と保険の点検を